

**「第二次丸亀市総合計画」策定にかかる
ワークショップ実施報告書**

平成 29 年 8 月

丸亀市

目 次

1	ワークショップの概要.....	1
	(1) ワークショップの目的.....	1
	(2) ワークショップの実施テーマ.....	1
	(3) ワークショップのプロセス.....	1
	(4) ワークショップの全体像.....	2
2	ワークショップの手法.....	3
	(1) ワークショップとは.....	3
	(2) 「ワールド・カフェ」とは.....	3
	(3) 特徴.....	3
	(4) 実施手順.....	4
3	ワークショップ内容のまとめ (第1回).....	6
	(1) オリエンテーション.....	6
	(2) テーブルに分かれて「語り合う」.....	6
	(3) 「これ必要カード」へ記入.....	6
	(4) 話し合いの内容.....	7
4	ワークショップ内容のまとめ (第2回).....	9
	(1) オリエンテーション.....	9
	(2) テーブルに分かれて「語り合う」.....	9
	(3) キーワードを付箋へ記入.....	9
	(4) 話し合いの内容.....	10

1 ワークショップの概要

(1) ワークショップの目的

「第二次丸亀市総合計画」を、市民の声や意見を反映した計画にするために、丸亀市の未来のために必要なことや、みんなのできることなどについて、自由に意見交換を行う参加体験型の会議（ワークショップ）としました。

また、参加していただいた若い世代の方が計画の策定過程に関わることで、市の魅力の再発見や市への愛着の醸成につながるような視点をふまえたものとしました。



(2) ワークショップの実施テーマ

“みらい Cafe” で語り合う わがまちの未来
～みんなで作ろう 理想の丸亀市～

丸亀市を「今よりもっとよいまち」にするために必要なもの、「今よりもっといいまち」にするためにみんなができることをテーマに、理想の丸亀市の実現に向けて、意見交換を実施しました。

(3) ワークショップのプロセス

ワークショップには若手職員、大学生を中心に参加いただき、2回に渡り実施しました。

実施手法については、「語り合い」を中心とした「ワールド・カフェ」方式と呼ばれる手法を用いて実施しました。

■ワークショップ開催スケジュール

	開催日時	参加人数
第1回	平成29年8月10日（木） 10:00～12:00	13名
第2回	平成28年8月17日（木） 10:00～12:00	18名

(4) ワークショップの全体像

第1回

「自由に語り合おう！ 丸亀市が“今よりもっといいまち”になるために」

～コレ、丸亀市に必要！をみんなで探そう～

- ① 今回のワークショップの主旨、実施方法についての説明
- ② 「丸亀市が“今よりもっといいまち”になるために必要なもの」をテーマにワールドカフェ方式で話し合い、意見を出し合っていたく
- ③ 最後に、語り合いを通じて、“コレ、丸亀市に必要！”“こんな取り組みが重要”と思ったものを書き出し、『コレ“必要”カード』を作成していただく



■丸亀市の未来のために“必要なもの”の共有

第2回

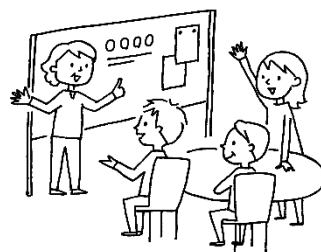
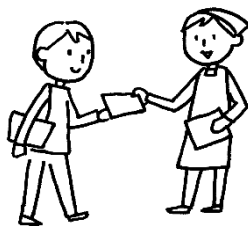
「できることを語り合おう！ 丸亀市が“今よりもっといいまち”になるために」

～“理想の丸亀市”のために、みんなでできること～

- ① 第1回目の内容の振り返り
- ② 第1回目の『コレ“必要”カード』から、特に重要なテーマ（キーワード）を提示
- ③ テーマ（キーワード）ごとに、みんな（個人・団体・地域・行政）ができる取り組みについて、意見を出し合っていたく
- ④ 最後に、語り合いを通じて、“みんなできそう”と思ったものを書き出し、『コレ“できる”シート』を作成していただく



■必要かつ実施可能な取り組みの共有



2 ワークショップの手法

(1) ワークショップとは

ワークショップとは、先生や講師から一方的に話を聞くのではなく、参加者が主体的に論議に参加したり、言葉だけでなく体や心を使って体験したり、相互に刺激し合い学び合う、グループによる学びと創造の方法です。

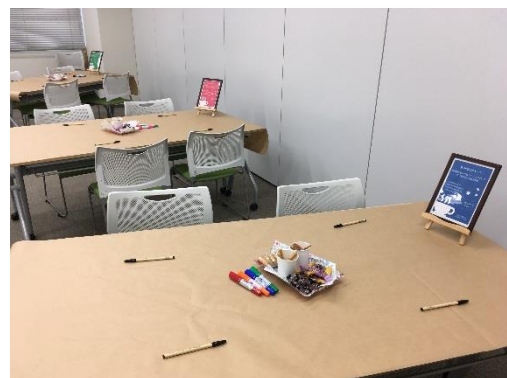
今回は「ワールド・カフェ方式」という手法で実施しました。

(2) 「ワールド・カフェ」とは

「知識や知恵は、管理されがちな会議室で生まれるのではなく、人々がオープンに会話を行い、自由にネットワークを築くことのできる“カフェのような空間”でこそ創発される」という考え方に基づいた、話し合いの方法の一種です。

(3) 特徴

- ・ アイディア出しをする際に効果的な手法です。
- ・ 年齢や職業にとらわれない参加者同士の自由な対話を行えます。
- ・ 本物のカフェのようにリラックスした雰囲気の中で、テーマに集中した対話が可能です。
- ・ 自分の意見を否定されず、尊重されるという安全な場で、相手の意見を聞き、つながりを意識しながら自分の意見を伝えることにより生まれる「場の一体感」を味わえます。
- ・ 最終的に一つの結論を出す収束型ではないため、決め事をするときには不向きです。



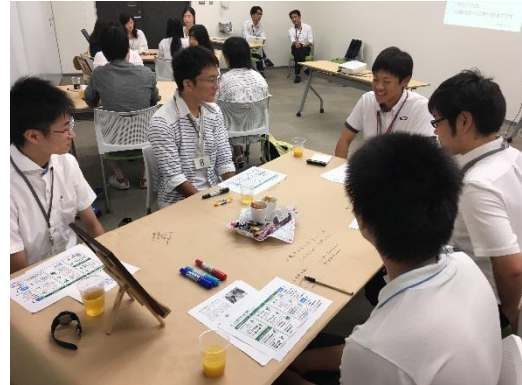
(4) 実施手順

ワールド・カフェの基本手順は次の通りです。

【第1ラウンド】 10:25~10:45

①はじめに座った席での話し合い【第1ラウンド】

4人で1つのテーブルに着席し、出されたテーマについて自由に話し合います。その過程では、テーブルに敷いてある模造紙に自由にメモを書き込んでいきます。



②テーブルにつき1名を残して別々に移動

時間がきたら第1ラウンド終了です。1名だけ“テーブルホスト”として、テーブルに残ってもらいます。他の方は“旅人”として、別々のテーブルへ移動します。



【第2ラウンド】 10 : 45~11 : 05

③次に座った席での話し合い【第2ラウンド】

続いて、新たに集まったメンバー4人で1つのテーブルに着席し、出されたテーマについて自由に話し合います。

初めにテーブルホストより、第1ラウンドでそのテーブルで行われた話し合いの概要を説明し、それぞれ新たに集まったメンバーからは各テーブルで出た内容を簡単に説明してもらいます。

第1ラウンドと同様に、その過程では、テーブルに敷いてある模造紙に自由にメモを書き込んでいきます。



【第3ラウンド】 11 : 05~11 : 25

④最初に座った席での話し合い【第3ラウンド】

最初に座った席でテーマに基づいて、ラウンド1、ラウンド2で得られた発見や気づきを共有し、話し合いを深めます。

⑤とりまとめカードに重要なこと（キーワード）を記入する

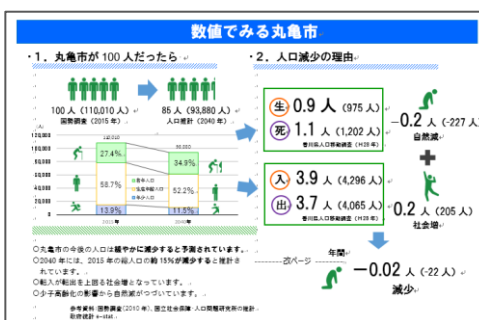
みんなと語り合う中で、とくに重要だと感じた内容について、カードを作成していただき、最後に全体共有を行います。



3 ワークショップ内容のまとめ（第1回）

(1) オリエンテーション

第1回目では、参加者の皆さんにワークショップ実施について、目的や趣旨の共有を図るとともに、ワールド・カフェの方法について、説明を行いました。また、統計資料などから見える丸亀市の現状について共有しました。



(2) テーブルに分かれて「語り合う」

3つのテーブルに分かれて「丸亀市が“今よりももっといいまち”になるために必要なもの」について、みんなで語り合いました。



(3) 「これ必要カード」へ記入

最後に、今回の語り合いを通して、「特に重要だと思う事」「これは必要だ」と思ったことをカードに記入いただき、参加者の意見を取りまとめました。

(4) 話し合いの内容

カードへ記入いただいたキーワードを「協働」「産業・観光」「暮らし」の3つに分類分けを行いました。

キーワード		＜＜丸亀市の まちづくりで コレ、必要！＞＞	説 明
大項目	小項目		
協働	ボランティア	市民の協力	商店街を『新しく』する。丸亀市に来る意味がある独自の場所を造ろう。丸亀市ならではの空間を。ONLY ONE 丸亀。良いところを伸ばしましょう。
	行政関係	官の力	定住促進のためのコミバスサービス拡充、タクシーシェアの推進、子育て支援施設の増加等を行うために、はじめは官が初期投資や民間誘致など、軌道に乗るまで面倒を見てあげる。また人材育成などに関してもリノベーションスクール等、やる気になるまでは官が支える。情報提供する。
産業・観光	商業施設・ 飲食店等	大型施設の増加	若者が行きたいお店や施設を多くすることで若者の増加がみられるのではないかと思う。
		商業施設 (インスタグラム)	地元の人からは便利、観光者からは新鮮・斬新で人にすすめたくなるような施設。※新たにつくる、商店街をリノベーションするなど。
		商店街の活性化	商店街の雰囲気や暗い…。100均やオシャレなカフェをつくって若者が来たいと思えるように。丸亀市のキャラを取り入れたカフェなど。
		魅力的なお店	カフェやショッピングをする場所など全体的に人が立ち寄りやすい空間が少ないので、そういった空間がほしい。
		個人商店の協力	商店街がシャッター街となって久しい。今こそ商店街の協力で、駅前の活性化を。それか商店街をつぶす。
		商店街『一新』作戦	未来の子どもたちが元気よく育ち、故郷に誇りをもてるまちづくりを我々でしましょう。
		大型ショッピングモール	コストコなどの大きなショッピングモールがあれば自然と人は増える。その人が来てくれたときに砥部の魅力を知ってもらえれば、また来たいと思ってくれる。
	就業支援	仕事数の増加	丸亀市において出している仕事が少ない、他の市に移ることが多いのもっと増やした方がよい。
集客力の向上	丸亀城の魅力、 再確認、打ち出し	キャラクターの認知度を広める。土産の拡張、『日本一高い石垣』を打ち出す。	

キーワード		<<丸亀市の まちづくりで コレ、必要！>>	説明
大項目	小項目		
産業・観光	集客力の向上	アニメ	じゅうじゅうかうちっ娘ちゃんのマスコットキャラのアニメ
暮らし	交通	公共交通機関	電車の本数も少ないし、バスも少ない。子どもやお年寄りなど車を持ってない人も移動しやすい公共交通機関を充実させるべき。どこに行くにも車が要るのは嫌だ。
		コミュニティバス	バスの時間が1時間に1本ぐらいしかないので、もっとコミュニティバスが充実したら利用者も増加すると思う。
	安心・安全	公園	現在の子どもたちは公園が危ないということであまり遊ばなくなっている。みんなが安心して使用できるようにするべき。
		子どもが安全に暮らせる環境	車が多く子どもたちが安全に暮らせる環境が少ない。不審者などが多く、外で気軽に遊べない。
	子育て支援	子育て環境	社会増のための環境づくり(都市計画、制度設計など)から定住者を増やし、自然増へつなげる。←最終目標。最終目標へ向けて、若い世代へのPR、インセンティブが必要。身近な所では、行きたくなる場所を増やす。基礎的な所では、職に就くこと。
		青い鳥	放課後の子どもたちを一時的にあずかる施設。子育て世代を支えるもの。学校が開いている場合が多いが、学校外の第三者が開いて子どもを受け入れる。
	障害者支援	障害者の方と共に利用できるスポーツ施設	丸亀市に、そもそもスポーツ施設が少ないのでは、という視点から更に発展させた。障害のあるなしに関わらずに、楽しさを共有できる場所があればもっといいまちになると考える。
	男女共同参画	同性婚の承認	性的マイノリティで悩んでいる人々を助けるはじめての市となれば良い。同性カップルの悩み「お互いの相続権がない」「相手が事故や病気になっても手術の同意書が書けない」→結婚できれば解決。

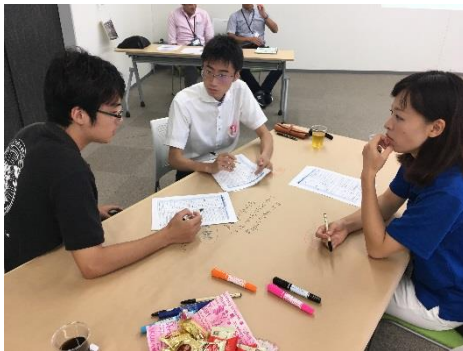
4 ワークショップ内容のまとめ（第2回）

（1）オリエンテーション

第1回目で集めた「これ必要カード」のキーワードをもとに前回の振り返りを行い、第2回目では「理想の丸亀市」のためにみんなでできることをテーマに語り合っていました。

（2）テーブルに分かれて「語り合う」

第1回目と同様に5つのテーブルに分かれて、みんなで語り合いました。



（3）キーワードを付箋へ記入

最後に、今回の語り合いを通して、「みんなでできそう」と思ったものを書き出し、『コレ“できる”シート』を作成していただき、参加者の意見を集めました。



(4) 話し合いの内容

NO.	該当するキーワード	キャッチコピー	アイデアの説明
1	産業	“職種”で選ばれる市に	就職する時に、働きたい場所よりも働きたい職業で選ばれる傾向が強いので、全国的に人気でも丸亀市に少ない職種を整備する。 →人口流出を防いだり、就労者を増やしたりできる。
2	産業・観光	商店街の活性化	人力車が中を通れるようにする(出店に立ち寄り)。 今ある店(古き良きを残しつつ)等を若者向きにリノベーション。 丸亀市の物産、魅力 PR。
3	産業・観光	にぎわいのある丸亀市	商店街の活性化 ・姉妹都市のブース(常設でなくてもバサラ、お城まつりなどに)。 ・駅→お城までのルートを楽しめるように。
4	産業・観光	発信力の強化	・丸亀市の魅力、情報を SNS(ツイッター、インスタグラム)で発信。 ・情報の拡散力は SNS が絶対的。 ・集客が増加すれば新規施設の開発が可能。
5	産業・観光	競艇女子	まだまだ男の遊びというイメージの強いボートレース。インスタなどの SNS で女子が競艇場でフォトジェニックな写真を撮って、どんどん発信していくことで、女子もできる遊びというイメージに変えていく。 ボートレース女子=かわいい、楽しい子ってなるくらい！ スポーツ観戦するのと同じくらいの感覚でできるように。 今風のカフェ併設でもっと行きたくなるようなレース場へ！写真撮影スポットも用意しておく。
6	産業・観光	家族で楽しめる街まるがめ	・話題を取り入れる(インスタ等)。 ・話題をつくる(おもしろい祭り、城とあわないものをまぜる) ・学生ボランティアによる協議体→子育てサポート(託児所)
7	産業・観光 (商店街の活性化)	城を中心とした観光スポットを	丸亀に観光で来る人たちは、多くが電車を利用してやって来る。そこでお城に行くまでに商店街を利用していただけるようなイベントを中心に多くのボランティアを集めて、観光客をもてなせるようなものを行う。 →商店街から城への流れがうまくいき、より多くの人たちが集まってくる。
8	産業・観光 (丸亀城の魅力、再確認、打ち出し)	丸亀城の活性化	・昔みtainな子どもたちが遊べるような遊具を多くの人たちで手づくりして、より多くの子どもたちを集める。→城の方に移り住む(城から遠くの家族等) ・城を中心としたアニメに関連する情報を発信していく(スマホなどを利用)。

NO.	該当する キーワード	キャッチコピー	アイデアの説明
9	産業・観光・ 国際交流	まちづくり×サンセ×若 者	ミシュランの星の数が面積あたり世界一の街、「サン・セバスチャン」と姉妹都市であることをもっとうまく活用すべき！“美食”“フォトジェニック”“希少”という若者を中心に人を動かすキーワードが揃っている。行政だけが主導で進めるのは面白くない。「まちづくり×サンセ×若者」駅前の活性化ともからめて、みんなでつくるサンセを！（過程もイベント化してもっと身近に認知されるように。イベントや観光から始めて、継続する中で産業やくらしにも好循環を生み出す。
10	観光	フォトジェニックストリート	商店街の壁やシャッターにインスタ栄える絵を！！ そこで写真をパシャリ。 フォトジェニックスポット。インスタにアップ！！ #丸亀市〇〇商店街
11	協働・産業・ くらし	丸亀市定住計画～ゆりか ごからはかばまで～	*より良いまちづくりのためには担い手が必要 →もっと丸亀に定住する人を増やすことが大事！ →丸亀を生活基盤の地とするには、就職先が丸亀にないとダメなのは？→丸亀で就職しよう！ そのためにできること ・企業、大学、HW など就職先と就職を控えている人や 就職したい人がもっと情報共有 実現すると →企業は自社の PR、人材確保 →就職したい人は希望職種見つけやすく ⇒人口増加による経済活性化 →もしかしたら伝統工芸等の担い手も増えるかも？ 新たな発見、魅力が見つかるかも？
12	協働 にぎわいづく り、一体感、 継続、恒例 行事、協力、 独自性、経 済効果	年中お祭り騒ぎ！みんな でしょう	まつり 365 日骨付鳥祭り ↓ 街の活性化：日々賑わう！協力して祭りを運営。とりあえず晩飯は「骨付鳥」、一体感！ 地域間交流：骨付鳥 vs〇〇〇、丸亀ならではの“骨付鳥”を全面アピール 駅前骨付鳥ストリート：商店街有効活用、骨付鳥店のみ！ 地鶏の生産：ブランド化、大学誘致後開発、若者が住む、骨付鳥専用にとり 雇用を生み出す：育てる(畜産)、加工、調理、販売⇒働く場の拡大、経済効果、仕事＝定住

NO.	該当する キーワード	キャッチコピー	アイデアの説明
13	産業・観光・ 協働	市をあげての異文化交流	姉妹都市との関係、認知度を高める。 ⇒イベントの際に PR。限定の模擬店を出店など。
14	情報発信(協 働)	多くの人たちに丸亀を知 ってもらおう	丸亀にはいろいろな隠れた魅力が多くあり、まだ知らない人たちがたくさ んいることから、イベント(小さい)やお店などをインスタ・ツイッターなど で発信。 →興味をもった人たちが集まって市内での人の流れをつくれる。
15	協働	丸亀を広めよう!	丸亀城や骨付き鳥など、丸亀市の魅力を外国人にも知ってもらい、「ま た来たい!」と思ってもらえるようなツアーを計画する。
16	協働	丸亀の陣	丸亀市内の地区ごとにチームを組み、大運動会を行う。大人や子ども だけでなく、外国人の参加も募ることで、地域全体で活性化を目指す。 縦と横のつながりは社会を構成する上で重要なことだと思う!
17	協働	全員集合! まるがめ大運 動会☆	・市民参加型の運動会 ・子どもから大人まで ・だれもができる競技 ・市の特産物を活かした食べものブース ・キャラクターも参加 ・景品もあり ↓ おいしい! 楽しい! 丸亀市
18	協働	安心して任せられる!	青い鳥などの児童施設で学生のお手伝いを支援する。 ・夏休みなどの長期休みで児童が多くなっても学生の手伝いがあ れば、安心できるのではないかと。 ・年齢にとらわれないコミュニケーションの発展。 ・学生たちにとっても良い経験になる。
19	協働	みんなでワイワイ何でもで きるぞ商店街!!	商店街の空き店舗を借りてワークショップ。学生や何かしたい人にでき る場所の提供。親子で参加できる体験型のお店など。うちわに絵を描 いてオリジナルうちわづくり。手づくりお菓子づくり(和三盆とか)、等。
20	くらし	子育て支援を充実させよ う!	大人だけでなく学生も子育て支援に参加して、明るい丸亀市をつくっ ていく。青い鳥を有効活用。
21	くらし	子どものびのびシティ!	・公園や学校帰りなど、子どもが大人の手を離れやすいときに地域の見 回り隊が安全を保障する。安全に遊べる公園が少ないから大人も安心 して遊びに行かせることができることを確保することがねらい。 ・見回り隊は安全保障のため。登録制にする。名札必須。ユニフォーム も。

NO.	該当する キーワード	キャッチコピー	アイデアの説明
22	くらし	人と音楽がふれあえる街	<p>ライブハウスがあれば人が集まって丸亀を知ってもらえるきっかけになると思う！</p> <p>→ライブ以外でも若い人や年配の方が集まってバンドができるような場所になれば。</p> <p>音楽を通じて人とのつながりもできる。</p> <p>周りにカフェなどあればなお良し！</p>
23	くらし	自転車競技	<p>利用されていない山を使って、マウンテンバイクで競技できる施設をつくる。</p> <p>他にもマナーアップ講座を開いて自転車利用者のマナー向上を図る。</p> <p>全国的に自転車用の施設は珍しいので、大きなアピールポイントになるのでは？と考える。</p>
24	くらし+協働	姉妹都市交流	<p>異文化交流-サンセバスチャン</p> <p>丸亀スペイン街 横浜中華街的な</p> <p>飯山、綾歌、島などの活性化</p> <p>イベント時限定模擬店 スペインの出店</p> <p>☆商店街の活性化</p>
25	子育て支援、 集客力	親子で出かけよう！	<p>子どもと大人と一緒に遊べる場所を増やす。</p> <p>市民広場のような広い公園で、遊具もあり休憩できるスペースやカフェなどが近くにあって、ゆったり自由に過ごせる場所があれば、人も集まるのでは？</p> <p>親子だけでなく若者や年配の方も過ごせる場所になると思う。</p>

カードにイラストで表現してくれていたものを紹介します。

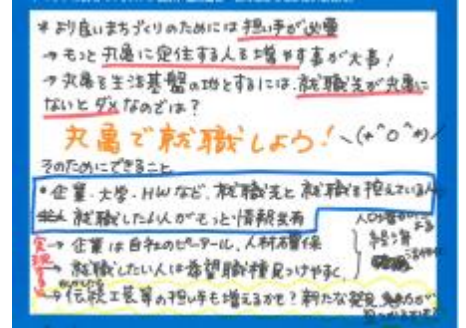
<NO. 4>



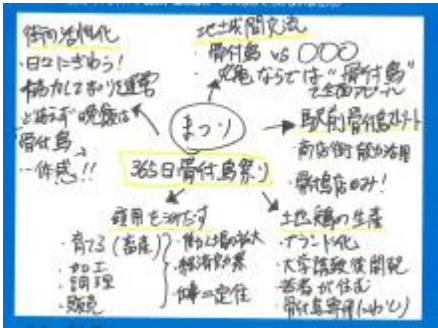
<NO. 10>



<NO. 11>



<NO. 12>



<NO. 22>



<NO. 24>

